

# 低炭素社会の実現に向けた我が国の電気事業者の貢献について(概要版)

本ビジョンは、地球規模でのCO2排出削減による低炭素社会の実現に向けて、当会が貢献しうる可能性の追求を共通理念とし、2030年度よりもさらに将来を見据えた電気事業のあり方と具体的施策についてまとめたもの。

## 低炭素社会の実現に向けた電気事業のあり方

- ◆ 安全の確保を大前提とした、エネルギー安定供給、経済性、環境保全【S+3E】の同時達成を果たすエネルギーミックスの追求
- ◆ 徹底した省エネルギーと最適なエネルギー構成を前提とした「電気の低炭素化」と「電化の促進」
- ◆ 大幅なCO2排出削減を達成するための「イノベーション」を通じた革新的技術が不可欠
- ◆ 低炭素型インフラ技術の輸出ならびに海外事業の展開による「海外貢献」を通じた地球規模でのCO2排出削減

## 具体的施策

### 電気の低炭素化(電力供給サイド)

原子力  
安全確保を前提とした活用(再稼働、核燃料サイクルの推進)

再生可能エネルギー  
導入拡大・維持、系統安定化・調整力確保

火力 高効率化

IoT(ビッグデータ)・AI技術の活用

### 革新的技術/イノベーション

原子力  
小型モジュール炉、熔融塩炉、高温ガス炉、核融合炉

再生可能エネルギー  
次世代太陽光、超臨界地熱、蓄電池、水素製造

火力 水素発電、CCS・CCU/カーボンリサイクル

ワイヤレス送電・給電

### 電化の促進(電力需要サイド)

ヒートポンプ・IHの普及促進

EV・PHVの充電インフラの開発・普及

IoT(ビッグデータ)・AI技術の活用

### 革新的技術/イノベーション

運輸部門・産業部門・民生部門における  
高効率な電化のための技術

ワイヤレス送電・給電

海外貢献: 低炭素型インフラ技術の輸出・海外事業の展開

地球規模でのCO2排出削減